名古屋市

名4　技術者研修のＸＲ技術による効果向上

求める技術：⑭

1　課題を抱える業務の内容

水道事業を担う技術者に対する効果的かつ効率的な研修

2　課題の詳細

経験豊富な人材の退職など、水道事業を担う技術者も減少しており、人材育成は事業運営上の重要な課題となっています。

大規模工事の減少や委託業務の活用拡大に伴う経験機会の減少、施設・設備の劣化進行に伴う維持管理業務の重要化や、新技術への対応など、技術者に求められる知識も時代に合わせて変化していく中、将来に向けて効果的かつ効率的な研修実施方法を検討しています。また事故防止のための安全教育についても、研修効果を高めていきたいと考えています。

こうした多様化する課題に対し、ＸＲ技術を用いた仮想的な体験を通して経験を積ませることにより、技術者研修の効果向上を図りたいと考えています。

3　こんな技術を求めています！

日常業務で経験することが難しい状況をXRを利用して体験する技術
例：土留め崩壊による事故再現、重機による事故再現（轢かれ、巻き込まれ等）
　　掘削穴への転落（重機ごとも含む）、管通水時の圧縮空気による管抜出し
　　機械巻き込まれ/挟まれ事故等
　　漏水修理や、管接合等を体感（グローブ等での触感等）できる技術